



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

# ポケットあわじ



## ノスタルジックな淡路島

VOL.263

もくじ

P1 チロリン村 P2 ユース・オレンジ P3 岩屋レトロな街歩き P4 ぶくおかサイクル・建物発見 P5 正木屋商店・福栄珈琲店 P6 淡路文化会館・淡路県民局からのお知らせ・淡路島くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報



鉄板を囲んで、昭和トークに花が咲く



昭和の頃にタイムスリップ

### チロリン村



うれしい昭和レトロ空間

店主 原 侑次さん

「チロリン村とくるみの木」は1956年からNHKで放送されていた人形劇。「チロリン村」と聞いて懐かしいと思うのはどの世代？ きっと70才より上の立派なシニア年代のはず。

「飛び出し坊や」や「ぞうのさとちゃん」の乗り物が店先に置かれ、壁には「金鳥蚊取り線香」や「オロナイン軟膏」の看板。昭和感満載のお店は淡路市志筑のたこ焼き・鉄板焼き屋さんです。メニューは粉とキャベツを混ぜないベタ焼き（肉天焼きとも）やもんじゃ焼き。もんじゃ焼きのトッピングは明太、餅、チーズはもちろん、バビースターも。岩塩マヨや、ねぎぼん、明太マヨで食べるたこ焼きは中がフワッフワッでおいしい!!

店の片隅には駄菓子もあって、大人も子どもも喜ぶ事間違いなし。食べて楽しい、見て楽しい「チロリン村」。

(応援隊：村上 紀代美、坂本 厚子、川原 雅代)

# クリームソーダ

ゆで玉子とお菓子付き!



レトロ喫茶でホットとひと息



開業当時は、  
コーヒー1杯30円でした。



店主 中來田 よし子さん

## 喫茶 ユース

【住所】洲本市本町4丁目3-13  
【電話】0799-24-1835  
【営業時間】8:00~14:00  
【定休日】火曜日

昭和が遠くなってしまったせいでしょうか。今や昭和の懐かしい雰囲気や漂うレトロ喫茶店が注目されています。洲本市本町の弁天通りにある「喫茶ユース」も地元民に愛される昔ながらの喫茶店です。

開業は昭和35年（1960年）。当時は珈琲1杯30円。「弁天通りも賑やかで店には客も多く、近くの麻雀屋さんやボーリング場への出前などもあり忙しかった。私も10歳の頃から店を手伝っていた。」と話してくれたのは店主の中來田よし子さん（74歳）。現在は妹の百合子さんと一緒にお店を営んでいます。お二人は仲良し姉妹でも有名。「ユース」という店名はよし子さん姉妹の祖母が命名。若々しいという意味があります。店内の壁には大きな絵画がかけられ、テーブルや椅子、レンガ調の内装等に昭和らしさを感じます。特に、昔懐かしい「クリームソーダ」も健在。それに喫茶ユースでは、珈琲やドリンク類を注文するとお菓子とゆで卵がもれなくついてくるという驚きのサービスです。

ほぼ毎日通っているという女性客は「ここはサービス満点。客の好みをよく知っているし、客が喜びそうな新聞記事も用意してくれる。なんといっても家庭的な温かい雰囲気が大好き。孫もここへ来ると落ち着くと言う」高年齢だけでなく、若者までも癒してくれる喫茶ユース。客との出会いを大切に、色々な人と話ができることを何より楽しみにしているというよし子さん姉妹の人物や昭和レトロ感が、地元民の憩いの場となっているようです。

（応援隊：瀬戸由美子）



# オムライス

味噌汁付き!

昔ながらの味一筋

## 昔なつかしい町の洋食屋さん れすとらん オレンジ



### 昭和にタイムスリップしたレストラン



店主  
伊藤正純さん・安美さんご夫妻

【住所】淡路市郡家260-1 【電話】0799-85-0150 【営業時間】10:00~19:00

昔なつかしいオムライスを食べに行きませんか。

オムライスにはサラダとなぜか味噌汁が付いています。お客様が食べやすいようにと店主の心遣いです。ケチャップで炒めたナポリタンスパゲティ、レトロな銀皿に乗ったハンバーグ定食、どこか家庭の味がするカレーライス（味噌汁付き）、まるで昭和にタイムスリップした町のレストランです。

先代のおばあちゃんが、戦後間もないころ始めた食堂を店主の伊藤正純さんと安美さんご夫婦が引き継ぎました。店名の「オレンジ」は昔、ミカン栽培をしていたことから名付けたそうです。店主の正純さんは愛知県で洋食の修業をしていたので家業を継ぎました。今風のおしゃれな洋食には目も向けず、むかしの味一筋に今日も作り続けています。現在のお店は阪神淡路大震災後、全面改築しました。

先日、四国から来た観光客がオムライスののぼり旗を見て来店しました。なんとその方は次の日も、なつかしいオムライスを食べに来たそうです。たまに昔の友だちや知人が食べに来て、昔話に花が咲き、帰りには「生きていたらまた来るわ」と言って帰るそうです。そんなお客様との会話が楽しく、元気になるとご夫婦はおっしゃっていました。「最近の物価高も、地元のお客様を大切にしたいので値上げせずに頑張っています。」とご夫婦。  
(元専門員：今谷)

漁師町岩屋はフレンドリーな人がいっぱいいるよ



★ 岩屋レトロな街歩き



道の駅あわじで橋のモニュメントを見たあと、タコスで腹ごしらえしたら、魅力たっぷりの岩屋レトロエリアへGO!



岩屋商店街のゲート



赤い郵便ポスト



緑の郵便ポスト

IWAYA BAGUS (岩屋バグース) サーファー夫婦が営んでいるBar

魅力的なお店がいっぱい!



老舗の和菓子屋さん



珈琲屋さん



人気のお好み焼き屋さん



パチンコ屋さん跡

岩屋観音寺参道へ



恵比寿神社

えっさんにおまいりしてレトロな温泉で汗を流そう♪



扇湯

淡路島北の玄関口、明石海峡を望む昭和レトロな岩屋の街歩きをしてみました。まずは明石海峡大橋に隣接した道の駅あわじからスタート、開放感バツグンの公園には様々なモニュメントが展示されています。長浜地区を通り岩屋漁港を見学、旧タコフェリー乗船場跡に2020年3月にオープンした「淡路島タコス」で岩屋グルメを堪能。片浜地区の岩屋商店街のゲートをくぐると昔懐かしい真っ赤な郵便ポストがいまでも現役でお役目を果たしています。すぐ斜め前の緑の郵便ポストがあるのは、サーファー夫婦が営んでいるBar。少し歩くと岩屋観音寺参道。以前営業していたパチンコ屋さんの前を抜けると明治創業 淡路島の手づくり和菓子の老舗かじた屋さん、斜め前にはお好み焼きの紋六さん、茶間川を渡ると岩屋カフェさんや本格ネパールカレー屋さんがあります。新しい味と懐かしい街並みとのコラボが魅力的です。

東町地区岩屋商店街ゲートをくぐると恵比須神社と岩楠神社があります。明石と淡路島を結ぶ高速船乗り場の西隣には寿司割烹源平さん、東隣は「アワイチ」のモニュメント、月の名勝 絵島、イブキ群落の大和島。商店街沿いには、地元で有名な銭湯として扇湯さんと丸吉湯さん、それに松帆地区の高台にある美湯松帆の湯。岩屋はノスタルジックなフォトスポットの宝庫。皆さんも街歩きをして、あなたから見たレトロな岩屋を新発見してみてくださいはいかが!?

(応援隊：竹代 結)



店主  
福岡 利和さん



洲本市上物部1丁目8-10 【電話】0799-22-8398



昔ながらの自転車屋さん



大型量販店や公共施設、バス停近くなどに乗り捨てられた自転車が多く見られます。自転車って故障や乗らなくなったら使い捨てなんでしょうか。修理や部品を取り替えれば十分乗ることができるような自転車もたくさんあるように思います。もったいないなあって思うのは私だけでしょうか。

昭和の自転車屋さんを思い出されるような「ふくおかサイクル」は洲本市立第三小学校の川向いにあります。昭和の時代には何軒もあった洲本市内の個人の自転車屋さんはこの店だけになってしまいました。

店主の福岡敏和さんは二代目で、敏和さんのお父さんが「福岡自転車店」として創業しました。福岡さんは会社勤めをしていましたが、33才の時に脱サラをしてこの自転車屋さんを継いで17年だそうです。その後「自転車技士」や「自転車安全整備士」の資格を取得して自転車整備の技術を高めました。新しい自転車の販売もしていますが、福岡さんは修理をするのが大好きなので故障した自転車が使い捨てにならないよう手間をかけて修理をし、できるだけ長い間乗ってもらえることを願っているそうです。また手ごろな価格の整備をした中古車の販売もしています。「自分が修理をした自転車を乗ってもらえるのはとても嬉しいし、こうしたことで少しでも地域社会に貢献できていると思います」と話されていました。

ふくおかサイクルでは依頼があればお客さんの家まで行って出張修理もするそうです。調子の悪くなった自転車をそのまま乗らず、正常な状態に修理をして安全に乗ることが大切だと思います。店の前にはタイヤの空気圧が減った際に自由に使うための空気入れを置いています。こんなところにも福岡さんの心遣いを感じられます。

調子の悪くなった自転車、そのまま放置せずに「ふくおかサイクル」で修理をしてもらって、気持ちよく乗ってみませんか。

(応援隊：田處 堯久)

～ノスタルジックな建物発見～



淡路信用金庫 本町支店 昭和10年建築



旧塩田郵便局 昭和12年建築



東光湯 洲本市内のレトロな銭湯



お店の前で  
金魚すくいができます！

### 約300種類の観賞魚



水槽 約150槽



## 正木屋商店

観賞魚の飼い方、  
水槽の設置やメンテナンスの  
アドバイスをしてくれます。



正木 武さん

お母さん  
正木 有さん (93才)



五十八年  
間  
鑑賞魚一筋

南あわじ市市福永354-1  
【電話】0799-42-0094  
【営業時間】9:00~20:00

南あわじ市の市の旧三原町役場の近くに58年続いている金魚屋さんがあります。昭和6年生まれのお父さんが始められ、今でも息子さんと営業しています。初めて金魚や熱帯魚を飼い始めようとした時、水槽のセッティングや観賞魚の飼い方について色々とお教えてもらった人が沢山いたと思います。実は我が家の主人も中学生の頃(約50年前)に熱帯魚を飼い始め共通の趣味を持った友達とよく通っていました。学校からの帰り道に友達の家で熱帯魚を見てから店先の水槽を覗いて帰るのがルーティンだったそうです。昔は子どもが金魚を買いに来ていましたが、今では高価な改良種が増え、大人が買いに来られるそうです。正木屋商店では、お店の前で金魚すくいが出来ます。250円で紙が破れるまで掬い放題ですが持って帰れるのは5匹まで、夏祭りに向けて練習にいかがですか？(応援隊：坂本 厚子、村上 紀代美、川原 雅代)



昭和レトロなグッズに囲まれて  
至福の珈琲タイム



懐かしい昭和のレトロなグッズに囲まれてお茶を楽しめる福栄珈琲店。お店に入って左側のエリアは壁一面に昭和のグッズが並んでいます。ここの昭和レトロコレクションがすごいんです。男子のコーナーには、キン肉マンのフィギュア、プラモデル、ウルトラマンファミリー・・・、女子のコーナーには「マーガレット」の雑誌やキューピーさん。映画のポスター、看板、文房具、お菓子の陳列ケースもあの頃の懐かしいものばかりです。珈琲が本格的でおいしいのも魅力です。雰囲気よし、味よし、店主よし。とても居心地のいいお店ですよ。直火焙煎珈琲をいただきながら思い出トーク・・・昭和レトロな空間で、至福のお茶時間をゆったりとすごしてみませんか？(応援隊：川原 雅代)

南あわじ市神代社家796 【電話】0799-58-0181  
【営業時間】9:00~17:00 【定休日】火・水曜日